

# 議会だより

☆たかもり

令和7年10月31日発行

No.165



まちにまった歩道の完成！

02 9月定例会 令和6年度決算

22 議会新体制スタート

10 一般質問

24 みんなの声 山 吹

おおほら なお ほ  
大洞 直保さん  
みぶ みなこ  
壬生美奈子さん

下市田



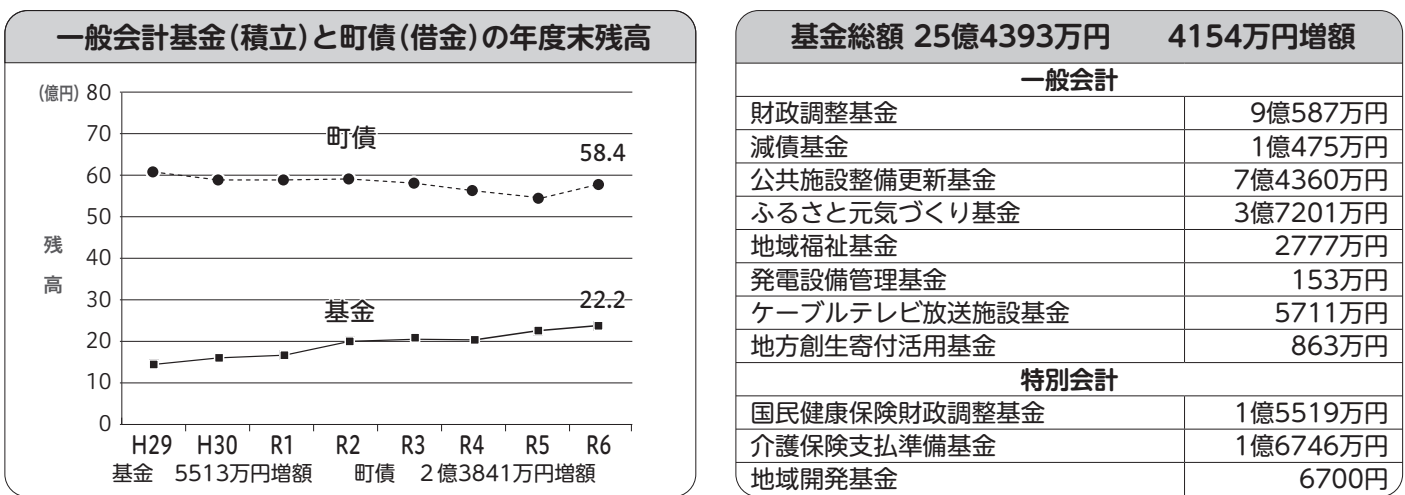
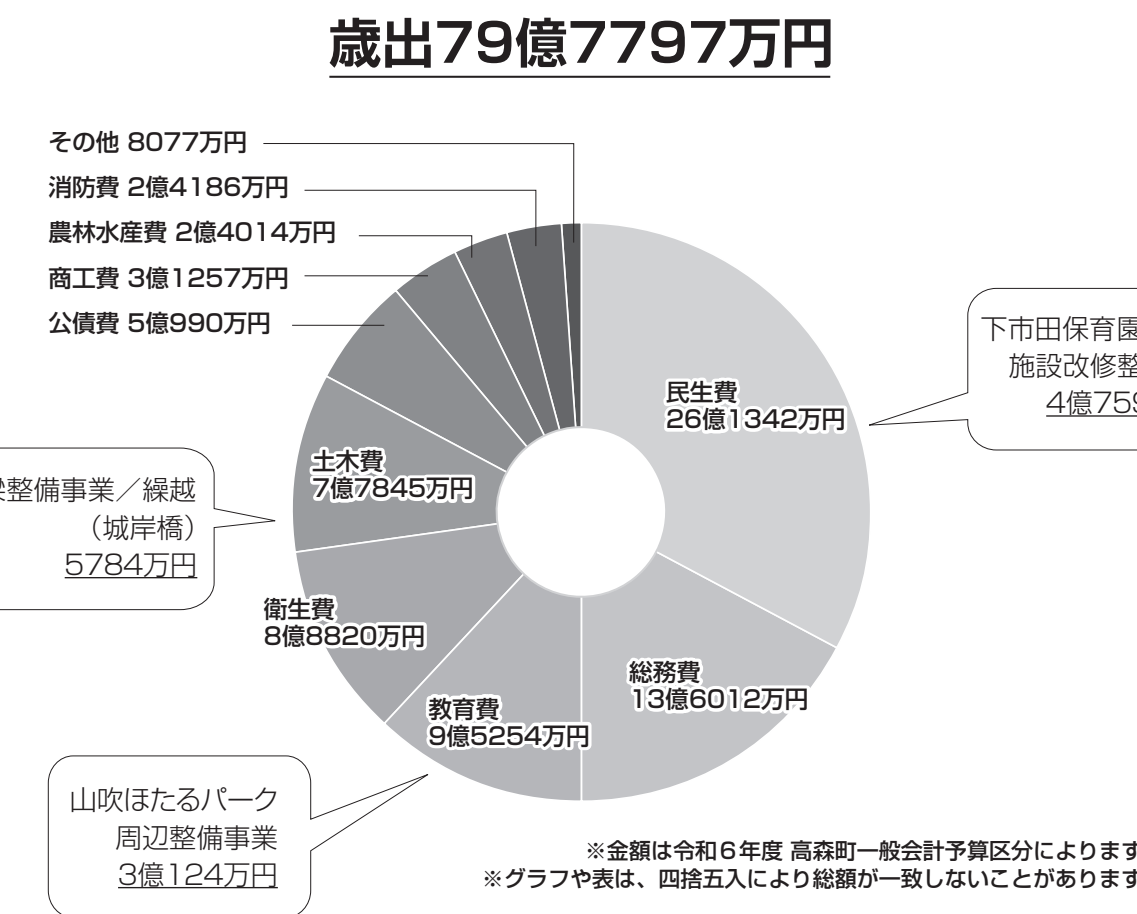
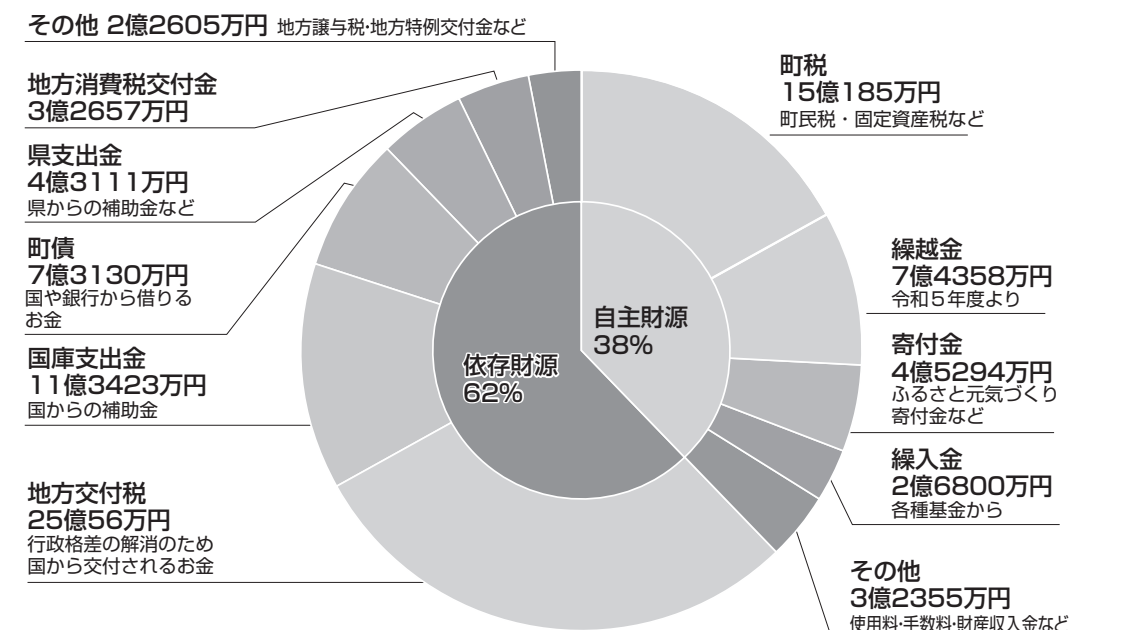
令和7年9月議会定例会は、9月3日～17日の15日間の会期で開かれ、条例案件・決算の認定案件・補正予算案件・その他案件が上程され、いずれも可決・認定しました。  
決算内容は2、3ページにまとめました。2ページには令和6年度の歳入歳出をグラフに表し、3ページには基金、町債、諸会計の決算概要および近隣町村の財政状況を掲載しました。

令和6年度 決算

町の一般会計

お金の出入りを見てください

歳入86億3973万円



基金総額 25億4393万円 4154万円増額	
一般会計	
財政調整基金	9億587万円
減債基金	1億475万円
公共施設整備更新基金	7億4360万円
ふるさと元気づくり基金	3億7201万円
地域福祉基金	2777万円
発電設備管理基金	153万円
ケーブルテレビ放送施設基金	5711万円
地方創生寄付活用基金	863万円
特別会計	
国民健康保険財政調整基金	1億5519万円
介護保険支払準備基金	1億6746万円
地域開発基金	6700円

会計区分	特別会計					企業会計	
	国民健康保険	後期高齢者医療	介護保険	地域開発事業	農業集落排水事業	公共下水道事業	水道事業
歳入(収益)	10億6653万円	2億1213万円	16億7642万円	2億2404万円	1億8340万円	5億2371万円	3億1028万円
前年度比較増減	▼1億100万円	2799万円	▼1973万円	▼648万円	▼1億8766万円	7022万円	1362万円
歳出(費用)	10億4944万円	2億1181万円	14億5150万円	2億582万円	1億5327万円	4億8129万円	2億2345万円
前年度比較増減	▼1億417万円	2815万円	▼414万円	▼834万円	▼1億4169万円	5146万円	▼601万円
差引残高	1709万円	32万円	2億2492万円	1822万円	3013万円	4242万円	8683万円

下伊那郡北部5町村 令和6年度決算の財政状況等						
項目	松川町	高森町	喬木村	豊丘村	大鹿村	
人口(R7.1.1住民基本台帳)	12,445人	12,606人	5,888人	6,501人	868人	
世帯数(R7.1.1住民基本台帳)	4,799世帯	4,610世帯	2,156世帯	2,253世帯	455世帯	
面積	72.79km <sup>2</sup>	45.36km <sup>2</sup>	66.61km <sup>2</sup>	76.79km <sup>2</sup>	248.28km <sup>2</sup>	
令和6年度普通会計歳出決算額	1人当たり	66万円	63万円	74万円	97万円	272万円
	決算総額	82億4667万円	79億7797万円	43億8011万円	62億8006万円	23億6187万円
普通会計収入額に占める、地方交付税の割合	34.6%	28.9%	43.6%	31.0%	54.0%	
標準財政規模	46億1451万円	43億5727万円	27億2110万円	30億5634万円	14億4459万円	
財政力指数	0.391	0.421	0.247	0.297	0.150	
経常収支比率	80.8%	84.2%	81.4%	76.8%	73.1%	
実質公債費比率	7.1%	8.3%	8.4%	12.0%	2.8%	
将来負担比率	—	27.0%	—	—	—	

※将来負担比率「—」は将来負担額より充当可能な財源が多いことを表す

財政力を見る4つのポイント			
財政力指数 0.421(前年度比較 0.008増) 予算のうち、自前の税収でどのくらい賄えているか 指数が高いほど財政力が強い		実質公債費比率 8.3%(前年度比較 増減なし) 一般会計が負担する借金返済費用の割合 数値が高いほど他の事業を圧迫する	
経常収支比率 84.2%(前年度比較 0.6%減) 税等経常的収入の中に、人件費等経常的経費が占める割合 数値が低いほど他の事業に使える		将来負担比率 27.0%(前年度比較 8.5%減) 将来支払うべき借金返済の重み	

(木村 記)



# 質疑から見る 令和6年度

# 決算

## 決算審査

議会は一般会計決算の審査を決算審査特別委員会に付託します。特別委員会は、詳しく審査するために、第1分科会（総務民生委員会が担当）と第2分科会（産業建設委員会が担当）の2つの分科会に分かれ、令和6年度の「一般会計決算書」と「事務事業概要報告書」に基づき審査しました。概要報告書は、町ホームページに掲載されています。

9月  
定例会

## 事業効果をチェック

### 第2分科会

#### 土木費 町道維持管理事業

2959万円

**Q** 町道の除草業務は人件費も上がっていると思うが業務量も増えているのか。

**A** 除草などが高齢化などを理由に困難になり、行政でやってほしいといった町民からの要望が多い。受託者の日本ベスコット㈱の協力を得ながら対応している。業務量は毎年確実に増加している。

#### 衛生費 一般廃棄物収集処理事業

7786万円

**Q** ペットボトルの量は資源回収日に回収したものだけか。周知してほしい。

**A** ペットボトルの量は資源回収日に集めたものだけ。これまで広報やホームページで周知するとともに、プラスチック資源の分別説明会の際に、全町に説明をした。今後も周知していきたい。

#### 農業費 認定農業者認定支援事業 青年就農者定着支援事業

4万円

1898万円

**Q** これら支援事業費は十分か。また、地域おこし協力隊は何人に活用され、高森で就農しているのは何人か。

**A** 支援が手薄だと意見をいただいている。今年度は設備投資に対する支援、補助制度を新設させていただいた。5人が活用し、就農している。

#### 衛生費 生ごみ処理機導入補助事業

116万円

**Q** 生ごみ処理機の補助台数が令和5年度に比べて倍増している理由は。

**A** 民間事業者が新聞の折り込みチラシを入れたことで、補助件数が増えた。



生ごみ処理機導入補助事業で購入した一例

#### 林業費 森林病害虫等対策事業

750万円

**Q** 松くい虫被害とナラ枯れについて、その被害状況と対策は。

**A** ナラ枯れが発生している標高は段々と上がってきている。優先度が高いところから対策を進めている。松くい虫被害について把握はしていないが増加傾向と認識している。

## 事業効果をチェック

### 第1分科会

#### 民生費 高齢者デジタル支援・交流事業

16万円

**Q** 令和5年度はゼロ予算だったが、令和6年度16万2千円の内容は？

**A** 令和5年度は地域貢献として無料で講師を行っていただいたが、毎回7～8人の職員を派遣いただいたので、2年目からは経費計上し、令和7年度は社協に委託している。

#### 総務費 空き家対策推進事業

30万円

**Q** 危険な空き家の解決に向けた事業か？

**A** この事業は解決まで含めて対応しており、実際解決に至った案件もある。空き家バンクを通じて危険な状態になる前に活用へ繋げられる取り組みに力を入れたい。

#### 教育費 国民スポーツ大会開催事業

6884万円

**Q** 国スポ開催に向け、今後どのような流れになるのか。

**A** 設計については予定通り。基本的には2026年から工事、2027年リハ大会。2028年本大会となる。ビーチバレーについてはリハ大会と本大会を同年開催している例もある。工事の進捗も含め計画していく。



#### 教育費 青少年校外スポーツ活動支援事業

224万円

**Q** 部活動地域移行での補助金は。

**A** 部活動地域展開が進んでいくと同様に、各種団体の取組みに対して補助を行うことになる。保護者負担についても国がある程度の金額の指針を出すと聞いており、それらをもとに設定することになる。

#### 教育費 南小学校教育活動運営事業

659万円

**Q** 水泳指導委託業務費は毎年同様の支出が見込まれるか。

**A** その年度の生徒数×単価で算出している。

#### 総務費 公共交通整備・運行事業

2838万円

**Q** この事業の適正金額は。

**A** 上限は定めていないが、今後は更に高齢者のバス利用を見込んでいる。事業の適正性については、地域公共交通協議会で審議している。





## 条例改正

### 高森町水道・下水道条例の一部を改正する条例について

災害その他非常時において、町の指定を受けた給水装置工事事業者、または下水道排水設備指定工事店の確保が困難となった時は、他市町村の指定を受けた事業者または指定工事店でも工事を行うことができるようになります。

◆条例改正は他4件あり、いずれも承認されました。

## 人事議案

### 教育委員会委員の任命について

教育委員会委員の任期満了に伴い、新たな委員が可決されました。

新たに任命する委員  
城子久子委員(山吹)

再任命する委員  
熊谷昌治委員(牛牧)

ともに  
任期 令和7年10月1日から令和11年8月30日

## 請負契約

### 令和6年度高森町町民研修センター解体工事変更請負契約の締結について 1726万円

町民研修センター解体工事に伴う追加工事にかかる費用です。

#### 【主な工事内容】

- 整地
- 木の伐採
- 貯水槽の解体

#### 【受注者】

神稲建設株式会社



取り壊し前の研修センター



解体工事中の現場

## 請負契約

### 令和6年度信州たかもり温泉改修（第1期）工事請負契約の締結について 6億7760万円

たかもり温泉の第1期工事にかかる費用です。

【主な工事内容】 湯ヶ洞の改築

【受注者】 神稲建設株式会社

## 討論



反対

「地域防災計画」に定められた災害予防対策および「町民の福祉増進に寄与する施設」にすべき法や条例の理解が町も議会も不十分ではないか。しっかり理解し準備ができてから町民に説明し、その後再上程すべき。

同施設は建設時期も異なり、複雑な地形に二つの用途をもつ大規模な建物であり、2年とはかかると聞いている。改修計画では1期・2期に分けると説明されており、計画通り進められている。契約の相手方も実績はあり問題ないと思う。



賛成



反対

たかもり温泉全体としての詳細設計が整わない段階での着工には無理がある。本事業の設計では説明会のたびに指摘を受けて変更してきた。



信州たかもり温泉 湯ヶ洞

議員名	久保田	和地	佐々木	木下(香)	木村	本島	齋藤	河合	原	福沢	岩口	市川	三浦	木下(啓)	結果
賛否	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	一	可決

※議長は賛否同数の場合のみ議長採決となり、賛否を表明します

(木下 記)

令和7年度  
一般会計

補正予算

2億7860万円増額  
予算総額 78億3513万円

歳入補正の主なものとしては地方交付税、国庫・県支出金、繰越金があります。歳出補正の主なものとしては民生費（給付金）、衛生費（新型コロナワクチン予防接種委託料）、農林水産業費（特産物普及推進費）（山林整備・病虫害防除委託料）、教育費（工事請負費）があります。歳入歳出それぞれ2億7860万円を追加し、今年度予算の総額を78億3513万円としました。

# ピックアップ

## 農林水産業費

### 市田柿振興事業 1000万円

特産物普及推進費として、本事業は当初予算では対象が「柿むき機」でしたが、今回、ほかの農機具および農業用施設などへも対象範囲が広がりました。条件は当初予算と同様です。

条件：補助上限 100万円／1件  
対象者 認定農業者、営農後継者  
営農継続意欲のある方

※議会だより163号 P6に詳細が掲載されています。



## 民生費

### 低所得者支援及び 定額減税補足給付金支給事業 6190万円

国の地方創生臨時交付金により定額減税しきれない方への給付金を実施します。

## 教育費

### 南小学校維持管理事業 825万円

南小学校裏庭の石積が崩れかけているので、崩落防止工事をします。



## 衛生費

### 指定年齢予防接種事業 1607万円

新型コロナウイルス予防接種を実施します。

## 農林水産業費

### 町有林保育事業 森林病虫害等対策事業 1050万円

枝伐採などの山林整備および松くい虫などの病虫害防除の委託料です。

(木村 記)



## 議会主催の町民懇談会(仮称)



### 皆さんの声をお聞かせください

高森町議会では、町民の皆さんの声を直接お聞きし、安心・安全、そして活気あるまちづくりに生かしていきたいと考えています。

そこで、令和8年2月上旬に町民懇談会(仮称)の開催を予定しています。

議会・議員へのご意見、議員報酬や議員定数、地域の課題や町の事業などについて気楽に懇談してみませんか。

また、議会との懇談会を希望される町内で活動する団体・グループの皆さんを募集しています。



申し込みの詳細は、こちらからご覧いただけます。

## 議会議案

### 議会改革推進特別委員会の設置

町議会議員選挙が2期連続の無投票となったことも踏まえ、議会基本条例の理念を実現するため必要な事項を調査・実行するため、設置しました。

まずは3つのテーマで進めていきます

☐ 議員のなり手不足の解消

：模擬議会の研究

☐ 議会基本条例の推進

：議会基本条例の確認と見直し

☐ 議会改革に関する調査・研究

：町民懇談会の開催について

## 第2回 7月臨時会 7月30日 初議会

7月30日臨時会が行われ、専決処分2件が上程されました。

本臨時会では、7月の選挙後の初議会となり、議長、副議長選挙と各議員の希望に沿う形による各委員会の所属決定と、委員長を選任を行いました。

## 議長ってどうやって決まるの？

まず、立候補者がいるかどうか。

立候補者がいた場合は、各自、所信表明演説をして、投票により選ばれます。投票をするのは全議員です。

投票数が同数だった場合はどうするの？

くじ引きで決まります。

さて、今回の高森町議会の議長はどのように決まったのか。

立候補者は2名でした。

投票結果は・・・なんと同数でした。

そしてくじ引きにより木下議長が誕生しました。



(P22では議会新体制の紹介をしています。)

(久保田 記)

## 請 願

9月定例会では2件の請願が提出されました。  
付託された委員会で慎重に審議を行い、2件の請願とも採択となり、それぞれ意見書を提出しました。

### 請願1

「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」と  
「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願

採 択

#### 意見書

「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書

#### 内 容

1. どの子にもゆきとどいた教育をするため、国の責任で以下の3点を検討し、必要な教育予算を確保すること  
(1) さらなる少人数学級の推進 (2) 複式学級の学級定員の引き下げ  
(3) 教員基礎定数算出に用いる「係数」の改善
2. 教育の機会均等とその水準の維持向上のために必要不可欠な義務教育費国庫負担制度を堅持し、負担率を2分の1に復元するなど拡充すること

#### 提出先

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 財務大臣 総務大臣 文部科学大臣

### 請願2

「カリキュラム・オーバーロードの改善」  
を求める請願

採 択

#### 意見書

「カリキュラム・オーバーロードの改善」を求める意見書

#### 内 容

1. 子どもたちのゆたかな学びを保障するため、「カリキュラム・オーバーロード」の早期改善、および学習指導要領の内容の精選等を行うこと

#### 提出先

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 文部科学大臣



※ 「カリキュラム・オーバーロード」  
ってなに？

国の教育課程基準にもとづき、学校が定めた教育課程の時数と内容が過多(教育課程の過積載)になっていて、子どもや教職員に過大な負担がかかっている状態

(木村 記)

どうやるの？  
請願・陳情 手続き

町政に関することや、国・県に対する要望などを町議会に提出することができます。  
必要事項を記入した文書を作成し、議会事務局へ持参することで提出できます。

町ホームページから  
手続きの詳細が  
ご覧いただけます



一般質問は年4回開かれる「定例会」で、議員が執行機関(町長・教育長等)に町政運営全般にわたり、事務の状況や今後の方向性に対する疑問点を質問し説明を求めることで町政の姿勢を明確にするなどの目的があります。質問権は全議員に認められています。  
9月定例会では9名の議員が行いました。

11 岩口友雄  
町長選挙への出馬は

16 福沢嘉言  
日本一選挙に出やすい町に

12 木下香乃  
自治会未加入世帯増加について

17 木村典雄  
改修後の湯ヶ洞について

13 三浦喜久夫  
百歳まで歩く足で健康寿命延伸

18 河合隆俊  
学校体育館へ空調設備の導入を

14 本島未来  
こども家庭センターの役割は

19 原敏明  
子どもの権利の周知は

15 齋藤天  
歴史教育の現状は



一般質問の原稿は質問した議員自身が内容を要約してお伝えしています。議事録は準備が整いしだい町ホームページに掲載します。

## 町長選挙への出馬は

町長 今はまだ判断がついていない

▽質問  
任期も残り4か月となったが、2期8年間を振り返り、町政運営に対する感想は。

町長 これまで町政運営にご協力いただき、支えていただいた本町に関係する全ての皆さまに厚く感謝申し上げます。8年前、町の職員を辞めて町長選挙に出させていただいた時に「高森町は元気かな

い、もっと元気のある町にしてほしい」ということだった。町長になってからは、広報の持つて行き方を変え、事業の展開をスピード感を持ってきちんやり、必要な予算をきちんと獲得するとう点を重点的にやってきた。また「地域人材教育」を柱に小中学生・若者世代の人材を育て、地域を「知る」・課題解決の「提案を行う」そして「実践をする」という流れを確

立し、それが良い流れを作っていると考えている。また、新型コロナウイルスにより人との交流はよくない・マスクをするのが当たり前・打合せはオンラインへと変わる中、対策には危機感を持ち裏付け調査からスピード感を持った対応をきちんとするということを心掛け、おおむね評価いただけたのではないかと振り返っている。

は、着実に実行することができた。また、ほたるパークの建設や下市田保育園の改修、MIZBEステーションの整備、福祉センターの改修といった大型事業をマネフェストに掲げているが、一定の方向付けができているので、よかったと判断している。地域人材教育は、学びから実践に切り替え、地元企業の若手職員と「南信州みらい創生塾」を実施している。参加者からは「同世代の異業種の方と交流・ディスカッションでき、有意義な時間が過ごせた」など高評価を多くいただいている。小中学生と現在行っている「南信州SBPクラブ」では、地域の子どもたちが地元のことを考え、その課題解決がビジネスにつながるという、よい勉強ができています。

▽質問  
来年1月に行われる町長選に出馬するのか。

町長

8年間やってきて、町民の皆さまがどのような評価をしているか。もう4年間やるかのモチベーションと体力、家庭環境

など家族と相談してできるだけ早めにお答えしたい。

○要望

町にとっても大きな事業が残っている。南信州地域を代表する高森の首長として尽力いただけることを期待する。



いわぐちともお雄  
岩口友雄

道路・上下水道などのインフラ整備について



いきいきと柿丸くん焼きの試作をする南信州S B Pクラブの子どもたち





きのした こうの  
木下 香乃

例第13条第2項「町内に居住する町民は、自治組織の活動に積極的に参画し、協働するよう努めま」の部分を熱心に説明しているか。他に加入に繋げるためにしていること、今後行う予定のものはあるか。

総務課長

自治会加入率が令和6年度末60・87%まで落ち込んでいる。対策として、町・区ともに様々な手を打っているが、歯止めはかかっていない。

▽質問

町は自治会加入率の低下が続いていることに対してどのように考え、今後どのような対策をしようと考えているか。

町長

10月の区長会には私の方から新たな見解、制度のあり方などの説明をさせていただくことになっている。

▽質問

転入者への説明時に、高森町まちづくり基本条

7区の区長と行政が情報共有、課題の共有や解決策の議論を行うことを目的に「区長会」という名称で毎月開催している。

▽質問

未加入世帯増加の問題について、町と区が合同で協議する場はあるか。

総務課長

不定期だが、毎月区長会で議論の場を設けている。持続可能な地域づくりのための課題解決という視点で意見交換を行っており、その課題解決が未加入の減少に繋がると考えている。区長からの要望などは執行側で内部的に共有している。

▽質問

町民が「この地区に住んでよかった」と思える時代に合った自治組織の形を模索し実現していくため、新たな自治組織を検討する委員会を立ち上げたらどうか。

町長

「新たな自治組織」がどこを目指すのが重要になってくる。まちづくり基本条例に議会も向き合つとなっている。ぜひ

意見をいただきたい。検討委員会の立ち上げについては、細かい内容を詰めるながら最終的な結論を出させていただきたい。



自治会の皆さんによる河川清掃で綺麗になった大島川

# 自治会未加入世帯増加について

町長 議会とともにこの課題に向き合う

## 百歳まで歩く足で健康寿命延伸

健康福祉課長

医療費・介護給付費の抑制につなぐ

百歳まで歩くためには、足のチェックとケアが必要。足と歩行の状況が、元気で生きる上で非常に重要な要素となる。町の健康事業に積極的に参加することで、足の健康を意識したい。

▽質問

「足の健康」に着目し、足・歩くことの健康事業に至った経緯は。

健康福祉課長

コロナ禍で外出機会や運動習慣の減少が要因と



みうら きくお  
三浦 喜久夫

信州大学と連携したインターバル速歩。研究結果の報告は。

健康福祉課長

調査自体が全国で実施しているものであり、研

なり、筋骨格系の疾患に係る医療費の割合が高くなっている。自分のことは自分で行える生活を続けるために「歩く力」を支える脚部の筋肉が必要であることを考え実施している。

▽質問

ヘルスプロジェクトの対象年齢を30～50代にした理由は。

健康福祉課長

①40～50代の特定健診の受診率が低く、健康意識が十分に高まっていない。②生活習慣病の多くは、若い頃からの生活習慣に起因している。この年代の取り組みが、将来の自立した生活の維持に直結する。③子育て期にある世代が親子で活動習慣を身につけることで、次世代へも健康意識を広

▽質問

「身体ゆがみが原因で痛みとなり、骨の変形や筋力の衰えにつながる」と言われており、正しく歩くことで健康を維持できる。足の健康状態をチェックする診断サービスがあるというが。

健康福祉課長

飯田病院フットケア外来の竹内医師から、地域ケア会議、健康福祉の日、ヘルスプロジェクトなどで、フットケア・歩き方・靴の履き方について幅広くお話ししたい

▽質問

目標の距離を歩く達成感と仲間と楽しく歩くことが、健康につながり効



4月12日 スポ少結団式での親子対象ウォーキング

果が高い。町民の歩くイベントの企画や開催は。

健康福祉課長

足の健康は、年齢を問わず取り組めて、効果も実感しやすい親しみやすい活動。企業や世代ごとへのアプローチ、ウォーキングイベントの開催など、歩くことの習慣を浸

透させる先駆けの一つとして考える。教育委員会では、ウォーキングイベント「魅力発見！まちあるき」といったものを実施しており、史跡や地域を知る機会を提供している。既存の活動もいかしながら、今後さらに研究を進めていく。





らいも じまみ 本島未来

# こども家庭センターの役割は

町長 地域に根ざした伴走と支援をする

こども家庭センターは、令和6年4月に施行された改正児童福祉法に基づき、既存の児童相談所や市町村のこども家庭総合支援拠点などを再編、強化する形で、全国で順次設置が進められている新しい機関です。当町では子ども包括支援センターと、こども家庭総合支援室を統合し、母子保健と児童福祉を一体的に運営し、切れ目のない子育て支援を行うためのこども家庭センターを設置しました。

- 町長 目的としては、
- ① 母子保健と児童福祉を一体的に捉え、切れ目のないサポートを行う。
  - ② 子どもが社会性を育み、健やかに成長できるようにする。
  - ③ 保護者が責任を持って安心して子育てができるようにする。
  - ④ すべての子どもが安心して暮らせる地域社会の実現する。
- 役割としては、
- ① 妊娠期から子育て期、さらに子どもの自立までの一貫したサポート。
  - ② 子ども本人や保護者からの相談の対応。
  - ③ 医療、福祉、教育など関係機関との連携調整。
  - ④ 子どもの虐待の早期発見・予防および家庭への継続的な見守り。
  - ⑤ 地域社会全体で子どもと家庭を支える体制づくりの推進。

▽質問 多様な子どもからの相談に対する取り組みと支援体制の整備状況を伺う。

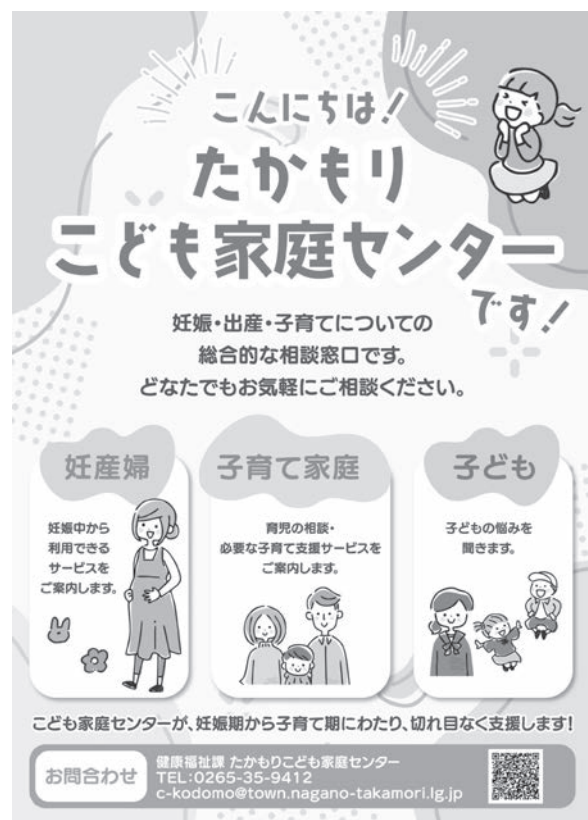
健康福祉課長 現時点で児童・生徒から直接相談が寄せられた事例はないが、今後子どもが安心して声を上げられる環境づくりとはどのようなものかを考えながら整備を進めていく。

▽質問 庭の孤立防止や交流促進策の実施・計画を伺う。

健康福祉課長 地域や世代を超えた交流を促進することが重要。地域・学校・保育園・ボランティアなど幅広い方々との協力、行政機関も多角的に取り組む必要があると考える。地域全体で「子育てを共にしている」という実感を持てるような働きかけを進めていく。

▽質問 地域経済と連携した支援策の推進が必要と考えるが考えを伺う。

町長 地域人材教育を進めている町として、さまざまな活動の中心に子どもたちを据え子どもが地域社会の中で必要とされている実感を持っていただき、保護者の皆さんにも伝えていただくという取り組みが進むように働きかけをしていく。



健康福祉課 たかもりこども家庭センター  
TEL: 0265-35-9412  
c-kodomo@town.nagano-takamori.lg.jp

一人で抱えないという選択を

## 歴史教育の現状は

教育長

考察力を養う工夫をしている

民族の歴史や神話を失うと、その民族は滅びる。国を失ったユダヤ民族が、今でも民族として存続しているのは、それを柱に据えてきたからだ。自虐史観により心の不安定な若者が増えているのではないかと考える。近隣諸国でも、反日教育に対して若者が疑問を呈し、日本文化や歴史を正しく学ぶ動きがあり、そんな今だからこそ、皇紀2685年という世界

一長い歴史を持つ国民として、戦争・歴史・神話に真摯に学び、語り合う必要があるとの思いから一般質問をした。

▽質問 本町の学校における歴史教育の現状は。

教育長 歴史的内容を知識として獲得するだけでなく、身近な歴史との関わりの中で実感的に捉えることを重視している。満州の開拓移民とその

引き揚げを、地域の方に由る紙芝居・時の駅・満蒙開拓記念館などで学習している。

この地域が奈良時代に都と東国をつなぐ交通の要地だった歴史を、東山道や富本銭を活用して指導している。さらに、現代のリニア路線と結びつけ、自分たちの生活と関連つけて多面的に考察する力を養う工夫をしている。

▽質問 古事記や日本建国など、どう伝えているか。

教育委員会事務局長 奈良時代に天皇家の由来を説明する目的で「古事記」「日本書紀」が編纂された。両書には、日

本を生み出したイザナギ・イザナミ神話が含まれ、外国の神話と比較している。ヤマタノオロチ伝説は、土石流や水害などの自然災害ともされている。教科書には、多くはないが神話や日本建国について学ぶ機会がある。

▽質問 近現代史については。

教育委員会事務局長 本町の中学校で使用する教科書では、第一次世界大戦について、産業革命を通じて経済発展が進んだイギリスをはじめとした列強諸国が、外へマーケットというものを求め、列強同士が対立。そこに民族問題が絡んだことが戦争勃発の原因と記載されている。

また、第二次世界大戦や大東亜戦争は、世界恐慌を通じて経済が不安定になり、そこにファシズ

△思想国が台頭し、他国への侵略を開始したことが原因と、示されている。終戦は、ドイツのナチス政権やイタリアのファシスト政権の失脚、日本においては、1945年8月6日の広島原爆投下、9日の長崎原爆投下

△意見 親子で歴史や神話を深く学ぶ時間や旅行をしてはどうでしょうか。



ひろし さい 藤 齋

『天竺瓊子を以て滄海を探るの図』(一部) (小林永濯)



日本という国は いつ 誰がつくったのか解りますか





のぶ 嘉言 福沢 ざわ いく

現在の仕事との両立が難しい、法による兼業制限などが要因としてあげられている。

また、選挙運動するには多くの支援者の確保が必要で、顔や名前を覚えてもらい主張や思いを訴えて支援を得なければならぬ。内閣府の調査結果では立候補をやめた理由に多いのが、資金不足・選挙やその準備にかかる時間がない・知名度がない。これらに続くのが選挙運動とその準備が分らないなど、多くは選挙運動に関わるものである。この現状についてどう思うか。

ネットの活用もあるので。は。

一町づくりに関心のある町だと思ふ。

選挙も地域課題の一環としてとらえ、学習会などの計画として新しい取り組みを支援していくことは可能である。

教育長

# 日本一選挙に出やすい町に

町長 それは日本一町づくりに関心ある町

▽質問  
本町の町長選は4期連続、町議選は2期連続無投票になってしまった。この現状をどのように捉えるか。

町長 きちんと信任され、どれくらいの有権者が頑張れと言ってくれているのか知りたい気持ちはある。選挙はすべきだと思う。SNSの普及もあり、公人となると誹謗中傷のターゲットになりやすく、そういうところも立候補のしづらさがあるのかも。

▽質問  
全国的に見ても無投票が増えており、議員定数の問題、低い議員報酬や

議員定数や報酬、子育てや介護を含めた他の仕事との両立、町との請負契約の問題など難しい課題だ。立候補しないと選挙にならないので、立候補の前段階でインター

自らも担い手として政治活動をやるという人材に、出やすい環境を整えることは大切だ。日本一選挙に出やすい町ということは、すなわち日本

町議会議員選挙 一般選挙 ター掲示場 月20日(日) 投票日 一注意 スターは、指定された番号区画にはってください。の掲示場は、高森町議会議員一般選挙候補者以外の方は利用できません。掲示場をこわしたり、ポスターをよぶいたりすると罰せられます。 高森町選挙管理委員会 40.(7-43)

15番以降がなく今回も無投票



## 改修後の湯ヶ洞について

町長

観光拠点となり町民益になる

リニューアル後の施設が「町民に親しまれ、町民のための施設になってほしい」と願う。防災上の対策が不十分であること、リニューアル後の湯ヶ洞が「町民の福祉や健康増進に寄与することを目的にした施設とはならない」ことを質し、運営方法について提案する。

産業課長

今年8月下旬コンサルに確認した。最大60センチメートルの土石流が想定されるが、ハード面で大きな対応は必要ないと判断している。

▽質問

スロープ設置により従来と異なった災害想定も考えられる。堂所浄水場も同様の「警戒区域」となっており、改修計画には災害予防の擁壁設置が

ある。湯ヶ洞にも「高森町地域防災計画」に沿って、更に科学的な調査と対策は考えないか。

産業課長

実際の災害想定は難しいが、これまでと変わらずに被害は少ないと考える。

▽質問

地方自治法第244条により「公の施設」が定められ、「公の施設」でなければ「指定管理者制度」を導入することができないことになっている。その定義はよいのか。

総務課長

その定義で間違いない。今後検討していく。

▽質問

湯ヶ洞はリニューアル

後、宿泊中心の施設となり、法律で定める「公の施設」ではなくなる。つまり「町民の福祉増進を目的とした施設」ではなくなる。指定管理者制度は導入できない。それでも「公の施設」となると考えるのか。

町長

観光振興の拠点となることにより町民益につながる。それが福祉であると思う。

▽質問

指定管理者制度を導入できたとして「10年間契約で指定管理料は0」と説明されているが、指定管理料を決めるシミュレーションはあるのか。

産業課長

現在は持ち合わせていない。今後検討していく。

▽質問

今後、改修後の温泉施設の指定管理者制度導入



現廊下前に湯ヶ洞1階と御大の館1階を結ぶスロープが計画されている

町長

を考える場合「まちづくり振興公社」を整備して、以前のようにそこが運営を担っていくようにする。また「観光協会」の法人化を早急に進め、町の観光を担っていく。そうした方策をどう考えるか。

観光協会は法人化の段階に至っていない。振興公社については難しいがそれも1つの方法だ。公社が公募に申し込めば、その中で判断する。





かわい たかし 俊  
河合 隆 俊

員会に指示を出した。

▽質問

子どもたちの安全・安心な教育環境と避難所としての環境整備についての考えは。

町長

町の小中学校の体育館は、子どもたちの教育の場であると同時に、災害時には地域住民の避難所として重要な役割を果たす施設である。

▽質問

全国的に猛暑日が増加している。避難所となる体育館では、夏場は暑さ冬場は寒さから、子どもたちや避難された方の命を守るためにも、空調の整備が必要ではないか。

町長

熱中症対策も含め、暑さへの対応が喫緊の課題と捉えている。3校の体育館のエアコン設置について、早急に整備を進めるよう、6月中に教育委

▽質問

検討している新しい技術や設備について伺う。

教育委員会事務局長

従来の電気式エアコンの他、ガスヒートポンプ式・地熱を活用した方式・太陽光発電と蓄電池を組み合わせた方式がある。体育館などは、風が影響を与える競技もあることから、送風はせずに壁や床を冷やすことで体育館内の温度を下げる方式もある。

今後も最新技術の動向や先進事例を注視し、導入コストやランニングコストも踏まえ、効果的で持続可能な空調設備の導入について、検討を進めていく。

▽質問

今後、全国的に体育館への空調設備の整備が進んでいくと思うが、改めて具体的な計画を伺う。

町長

まずは、学校体育館を優先する。

ただ、これから町がどこを目指すのかを考えた時、ほたるパークの整備とともにスポーツ振興を目指すとなると、町民体

育館が重要な施設となる。

今後、財政シミュレーションを立てながら、最終的には町民体育館へのエアコンの導入についても議会に相談する時期が来ると考えている。



蒸し暑い体育館での避難所開設訓練  
教育の場と避難所の環境改善として空調設備の導入が求められる

## 学校体育館へ空調設備の導入を

町長 暑さへの対応が喫緊の課題である

## 子どもの権利の周知は

教育委員会事務局長

今後は検討して行きたい

▽質問

令和4年12月の本島議員の一般質問以降、子ども権利条約のポスターを貼り、子ども権利条約やこども基本法の周知に取り組まれたと思うが、現況を伺う。

教育委員会事務局長

子どもの権利条約やこども基本法の周知の現状は、これについて特別に授業を行ったという実績はない。ただし、日本国憲法を学ぶ単元で、子ど

もの権利に関する条約の記載があり、中学校でも3年生が2学期に学ぶことになる。

今後は、こども家庭庁の発足や役割、子どもの権利条約・こども基本法についても学ぶ機会が増えていくと思われる。

▽質問

こども家庭庁が出てきているこども基本法のパンフレットがある。ふりがなの振ってある子ども向けもあるわけで、単元で

教えるだけでなく、「あなたたちにはこういう権利があるんですよ」と子ども全員に、また、先生方をはじめ私たち大人にも周知させていく、みんなが学んでいく必要があると考える。

今後、取り組みを変えていくという思いはあるのか、伺う。

教育委員会事務局長

理論を学ぶということも大変大事だと思うが、現状ではそのような計画はない。今後は検討していきたいと考えている。ただ、ポスターを掲示したから子どもの権利が周知される、実になっていくというのは、必ずしもそこには関係性がない



はら あき 明  
原 敏

こども基本法とは？  
こどもまんなか  
こども家庭庁

すべてのこども・おとなに知ってほしい

こども基本法  
とは？



こどもまんなか  
こども家庭庁

こども基本法パンフレットの表紙



## 議会・議員の活動に「町民の目」を！

議長 木下 啓爾

7月30日に開催された高森町議会臨時会において、議長に選任されました木下啓爾です。今までの議員8年間の経験をいかして「町民の皆さまに信頼される高森町議会」を目指して、議会の運営に努めてまいります。

さて、今回の「議会議員選挙」は、前回の選挙に続いて2回連続の「無投票当選」となっていました。この「議員のなり手不足」の現状から抜け出すためには、様々な課題をクリアしなくてはなりません。

議会としては、「議員報酬・議員定数」「町民との懇談会」「議会からの情報発信」など、今までも取り組んできた「議会改革の推進」を重点としてまいります。

一方、町民の皆さまには「まちづくりにおける議会や議員活動の重要性の理解」「町民の皆さまのまちづくりへの参加意欲の醸成」などについて働きかけてまいります。

現在、議会では「議会の中継」「議会だよりの発刊」「議会ホット情報便の放映」があります。今後は、「各種団体や町民との対話」、議会の様子をYouTubeなどで発信していく情報発信についても検討して行きます。

また、各議員が独自に取り組んでいる「議会報告や団体からの配布物」もあります。さらに、個人的な「報告会や語る会」などの集会、そしてSNSでの情報発信などで、議員の活動を報告する議員もいます。これらの活動を通じて、町民の皆さまに議会・議員を知っていただくことが大切だと考えています。「町民の方々の目」を議会・議員に向けていただきたいと思ひます。

## 産業建設常任委員会

委員長 河合 隆俊

産業建設常任委員会では、産業課・建設課・環境水道課を担当します。今後、信州たかもり温泉の改修・町道1-6号線の改良などの大型事業をはじめ、山吹下河原未来ビジョンの具現化に向けた取り組みも進められていきます。

皆さんが安心して暮らせる環境を整えながら、町の活性化のために慎重に審議をしていきます。

## 総務民生常任委員会

委員長 齋藤 天

総務民生常任委員会では、総務課・税務会計課・健康福祉課・教育委員会・議会・選挙・監査を担当し、出産から医療福祉・教育・税・職員の働きかたなど多岐にわたり審議しています。

委員長として、広い視野で学び、教育や福祉などより良い高森町になる政策提言など行います。

## 北部ブロック議員研修会

8月8日に豊丘村交流学習センター「ゆめあるて」を会場に下伊那北部ブロック町村議会議員研修会が行われました。

はじめに、長野県建設部リニア整備推進局長、室賀壮一郎氏による「リニアを核としたまちづくり」と題した講演会がありました。

次に、各町村議会から提出された県への要望案を審査しました。高森町議会提出案件は次のとおりです。

【総務・産業・建設関係】

「県道と町村道の

管理の見直しについて」

【教育・社会関係】

「児童虐待対応等における

支援体制の強化と圏域単位での情報共有の構築について」



北部ブロック議員研修会講演会の様子

(佐々木 記)

## No.164に寄せられたモニターさんの声

「委員会から報告します」と「4年間を振り返って」についていただいたご意見の一部を紹介します。



全項目は町ホームページに掲載しています



## ▼委員会から報告します (11～13ページ)

- しごと未来フェアでは我が子が今年度経験し、記事掲載協力したこともあり家庭で話題にできてよかったです。
- しごと未来フェアにおいて議員のなり手不足が懸念され続けている中で、議会としての活動を知ってもらえる様に働きかけをしている事が分かりやすく掲載されている。
- 下伊那厚生病院のベッド使用率94%で入院を断らなければならない状況を知る事が出来、それに対してどのような対応をしていくのかも記載がありとても分かりやすく問題を把握できる掲載だと思います。

## ▼4年間を振り返って (16・17ページ)

- 4年間ありがとうございました。4年間を振り返っては、とくに議員のみな様が、どのような思いで町政を支え、運営してきたのか今まであまり近くに感じなかった議員の方々を知れる良い場になったのではないかと思います。
- 今期はコロナの影響もあり前半は色々行事が縮小されておりましたが町議の方々は普段議員活動されながら議会だよりの作成・編集にあたっておりますのでとても大変だったのかと思われます。



## 質問

耐震改修工事を実施する場合、多額の費用がかかる。補助対象経費は改修工事費の8割で限度額150万円であるが、町補助額の増額を再度提案する。

【令和6年9月定例会】

## 答弁

町にある多種の補助制度との均衡を考慮し、補助額の増額を含め、来年度予算編成以降に向け慎重に検討してまいります。

【建設課長】

## その後

令和7年度から国補助額改定にあわせ、町補助額を令和6年度から15万円増額していますが、町独自の補助額増額は、今後の改修費用の動向や多種ある補助制度との均衡などを踏まえ、引き続き慎重に検討してまいります。



昭和55年以前に建築された住宅

(佐々木 記)

追跡!!

あれは今

どうなってるの？

1年程前の一般質問で取り上げられた事柄の中で「検討したい」との答弁だったものを取り上げ、その後の町の対応や、現在の状況を報告します。



# 議会新体制スタート

現職の議員 8 名と元職 1 名 新人 5 名のメンバーとなります。

各委員会の略記はこちら

総民	総務民生常任委員会
産建	産業建設常任委員会
議運	議会運営委員会
編集	議会だより編集特別委員会
改革	議会改革推進特別委員会
広域	南信州広域連合議会
北部	下伊那北部総合事務組合議会
監査	監査委員（議会選出）

それぞれ個性あるメンバーなので、その人柄を伝えるためアンケートを実施しました。

1. 好きな食べ物、好きなお店
2. 趣味、こだわり
3. 最近読んだ本、好きな本、好きな映画

この内、好きなテーマを 2 つ選んで回答しました。

副議長



三浦喜久夫

委員長  
産建 議運 改革 広域 北部

2. フォークソング「かぐや姫」ギター。仲間と歩くこと。
3. 100歳まで歩くために「足活30」・「足」のトリセツ。

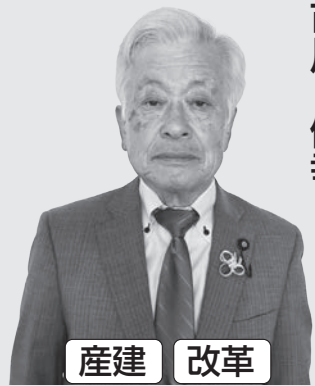
議長



木下啓爾

オブザーバー  
総民 議運 改革 広域 北部

2. 20代「キノコ採り」、30～40代「溪流釣り」、50代「レザークラフト」
3. 中学生で読んだ、住井すゑ著「橋のない川」（全7巻）が、本格的な読書の始まり。



市川信幸

産建 改革

1. 好きな食べ物は、と言うより嫌いな食べ物ははありません。
2. 菜園で一年を通して野菜を作ることです。



木村典雄

副委員長  
産建 編集 改革

2. スポーツ、核心を探って練習すれば上達する道は必ずある。
3. 「幸福の黄色いハンカチ」山田洋次 「度十公園林」宮沢賢治



河合隆俊

委員長  
産建 議運 改革 広域

2. 毎年、房の形にこだわって美味しいぶどうを栽培し続けること。
3. 「ジチタイワークス」自治体での課題が掲載されていて参考になる。



岩口友雄

委員長  
総民 議運 改革

1. 美味しい肉料理・年齢とともに量より質です。
2. 野球・生涯現役？人間力野球！！選手のため、チームのため裏方として、全国を目指しています。



原敏明

副委員長  
総民 改革

2. 環境負荷を減らすためにできる限り除草剤を使わないで、草刈りをしています。
3. 今、「若者とともに」という本を読んでいます。



齋藤天彦

委員長  
総民 議運 改革 北部

2. 政治や町づくりの根幹を、学習会を開き古典などから学んでいます。
3. 田口佳史著：致知出版社「横井小楠の人と思想」にて国造りを学んでいます。



和地理佐子

副委員長  
産建 編集

2. 野の花を活ける。下伊那の山野草の美しさに魅せられています。
3. パラマハンサヨガナンダ著、「あるヨギの自叙伝」がバイブルです。



佐々木宣之

産建 編集

2. 鶏を飼っています。農業経営の一助になればと思い試しています。
3. 読みたい本 柳田国男著「都市と農村」農業の大先輩から薦められました。



福沢嘉言

産建 議運 改革

2. ゴルフ、ドライバーを思いきりぶちかまし、上手くいけばウキウキ。
3. 「敗戦真相記」8月敗戦の翌月、9月広島での講演での見事な分析に驚きます。



久保田稔

委員長  
総民 編集

2. ゴルフ、人生の目標としてエイジシュートを達成したいと思っています。
3. 「人生の経営戦略」これを読んで町議会議員への挑戦を後押しされました。



木下香乃

副委員長  
総民 編集 議運 改革

2. 一人で行動することが好き。オタクです。
3. 絵本大好き。フェリクス・ホフマンの「ねむりひめ」です。



本島未来

副委員長  
総民 編集 改革 監査

1. ホルモン！特に塩ホルモンは最高です！
3. 「龍狼伝」です。是非読んでみてください。





## 私のふるさと出砂原への想い

下市田 <sup>みぶ みなこ</sup> 壬生美奈子さん

私は出砂原で癒しサロンチルルを営んでいます。健康第一、心も身体も元気であることを大切にしています。明るく元気な出砂原の人たちに、いつも支えられていることに心から感謝しています。

市田灯籠流しは100

年近くもの間、出砂原の方々が力を合わせ守り続けてきた伝統行事です。一つひとつの灯籠には祈りと想いが込められ、その姿はいつ見ても胸を打たれます。その歴史を未来の世代へと繋いでいくことが、私の願いです。そして出砂原マルシェ。これからも、たくさんの方々の笑顔に出逢えるように頑張っていきたいと思っています。

昔は映画館や商店で賑

わった街。形は変化して

も出砂原はいつも元気で

明るい地区。夢を一人で

はなく地域の皆さんと共

に叶えていきたいと思い

ます。

## みんなの声

## 人生を振り返って

山吹 <sup>おおぼら なおほ</sup> 大洞 直保さん



長野男性の健康寿命は82歳越えとなりました。私の歳も喜寿越えとなり、リニアに乗って東京名古屋へ旅行を夢見ておりますが、できるかなと思います。

私はベビーブームに生まれ1クラス五十数名の小学校。中学は初めての3クラスに分かれ、勉学に励みました。町村合併分村も経験し友との別離もありました。二六水害の恐ろしさを体験。東京オリンピックを高森町で見ることができました。

不況の中故郷を離れ、厳しい競争社会の東京へ巣立ちました。

その中で教えられ身につけたのは自分を飾らず

素のまま、お付き合いで

きる人間関係を築くこと

でした。

厳しいですが素で関係を

結ぶことが勘要です。

## 表紙の解説

2年の工事を経てついに！

ＪＡみなみ信州高森支所前の城岸橋が完成しました。新しい城岸橋は歩道がついて、子どもたちも安心して歩けるようになっています。

「前は穴があいていて怖かった！」とランドセルの男の子がお話ししてくれました。

川と山の美しさが望める、素晴らしい通学路が子どもから年配の皆さまに愛され、日々を彩るすてきな架け橋となりますように。

(和地 記)



川と山がきれいだね

## 議会 ホット情報便の お知らせ

放送日：毎月第3

土曜日～1週間

7:00 9:00

13:00 17:00

19:00

11月以降の担当者は  
次の議員です。

11月 佐々木宣之

12月 木下 香乃

1月 木村 典雄

あなたも議事を  
傍聴してみませんか？

次回の定例会は

**12月**です。

場所 役場3階議場

詳しくは議会事務局へ

☎35-9404

古紙再生紙使用

(久保田 記)

## 編集 後記



7月に高森町議会議員選挙が行われ、2期連続の無投票で14名の議員が決まりました。

この議会だより編集特別委員会のメンバーは主に新人議員で構成されています。初めての9月議会定例会はわからないことだらけでしたが、この議会だよりを作ることで多くのことを学びました。

本号は、議会でも

が、議員に対して興味

をもっていただけるよ

うに議員紹介を工夫し

ました。

～議会だよりをお読みになってのご意見・ご感想をお寄せ下さい～

発行／長野県高森町議会 責任者／木下啓爾 編集／議会だより編集特別委員会  
〒399-3193 下伊那郡高森町下市田2183番地1 TEL0265-35-9404 FAX0265-35-8294

UD  
FONT

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。